

株主メモ	
事業年度	毎年2月21日から翌年2月20日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	定時株主総会・期末配当金／毎年2月20日 中間配当金／毎年8月20日
公告方法	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 電子公告により行ないます。 http://www.palemo.co.jp/ ※事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を することができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
但し、旧株式会社鈴丹の株主様が特別口座に関するご照会をされる場合は、 下記の電話照会先にご連絡ください。 特別口座の口座管理機関 郵便物送付先 電話照会先	
株主名簿管理人 事務取扱場所 郵便物送付先 電話照会先	名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-782-031

株主優待

株主の皆様方のご支援に対する感謝の印といたしまして、毎年2月20日現在の株主名簿に記載された300株以上保有の株主の皆様方に対し、下記のとおり株主様ご優待品を進呈いたしております。



300株以上	1,000株未満	1,000円のクオカード
1,000株以上		3,000円相当のカタログギフト

上場株式等の配当等に係る10%（所得税7%、住民税3%） 軽減税率の廃止について

2014年1月1日から上場株式等の配当等に係る10%軽減税率（所得税7%、住民税3%）は廃止され、本来の税率である20%（所得税15%、住民税5%）となりました。
これにより、2014年1月1日から2037年12月31日までは「復興特別所得税」を含め20.315%の源泉徴収税率が適用されます。

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座のご利用がない株主様は、左記電話照会先までご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社（旧株式会社鈴丹の株主様は三菱UFJ信託銀行株式会社）に口座（特別口座といいます。）を開設しております。

愛知県ファミリー・フレンドリー企業登録

登録年月日 平成20年2月15日

登録番号 C0024

仕事と生活の調和のとれた働き方ができる職場環境づくりに取り組む
愛知県ファミリー・フレンドリー企業として登録いたしました。

～ Doing it ～

皆様の豊かさ・成長・満足の実現のために

PALEMO CO.,LTD.

第31期 第2四半期報告書
[2015.2.21.～2015.8.20.]

株主の皆様へ

Stake Holder

トップラインの向上により、基幹事業の収益回復に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当社第31期第2四半期報告書をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

この第31期第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善を背景に個人消費に持ち直しの動きが見られ、緩やかな回復基調で推移する一方で、円安による原価高騰、物価上昇の動きも継続し、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社が属する専門店業界は、昨年の消費税増税から一年が経過し、徐々に収益改善が進む企業が多く見られる一方で、全体としてはファッション消費への慎重さが根強く残るなど、厳しい環境で推移しました。

このような環境の中、当社は経営体質の改善を図り黒字化を果たすべく、基幹事業の収益回復に向けた「MD（マーチャンダイジング）変革」、店舗スタッフを対象とした「サービス変革」、経費削減に向けた全社的なプロジェクトによる「コスト変革」に取り組んでまいりました。またアパレル事業を中心とした不採算店舗閉店による「店舗基盤変革」、雑貨事業におけるライフスタイル提案型ブランドの「成長基盤育成」を進め、「独自性とロイヤルティの確立」に努めてまいりました。

当第2四半期累計期間の業績につきましては、第1四半期において昨年の消費税増税前の駆け込み需

要の反動減が想定以上に大きく低調に終わったものの、第2四半期以降は猛暑の後押しもあり、回復基調で推移しました。また商品鮮度の改善をテーマに取り組んでいる適正在庫コントロールへの取り組みも機能し始め、荒利益率の改善に繋がりました。以上の結果、不採算店舗の閉店の影響等から大幅な減収となりましたが、商品効率の改善、ローコスト化の進捗もあり、計画には及ばなかったものの黒字に転じております。

下半期におきましては、引き続き「MD変革」「サービス変革」によるトップラインの向上を加速させるとともに、「コスト変革」「店舗基盤変革」については不採算店舗閉店による赤字額の削減ならびに営業費の低減を進め、基幹事業の収益回復に努めてまいります。

そして役員はじめ社員一同、業績の回復に向け専心努力いたしますとともに、企業の社会的使命を重視いたしまして、企業統治ならびにコンプライアンス体制の強化など、企業の質的向上にも努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 吉田 馨

指 針

正しい経営
安定成長ローコスト経営
人財経営

トップインタビュー

Top Interview



Q1 当第2四半期累計期間の業績についてお聞かせ下さい。

当第2四半期累計期間の業績は、売上高145億61百万円（前年同四半期営業損失2億48百万円）、営業利益2億55百万円（前年同四半期営業損失2億22百万円）、四半期純利益71百万円（前年同四半期純損失4億52百万円）となりました。

売上高におきましては、昨年の消費税増税前の駆け込み需要の反動の影響や春物商品の不振もあり、第1四半期の既存店売上高前年同期比は92.8%となりました。その後、気温の上昇とともにシーズン商品が好調に推移したほか、晩夏、初秋物のプロパー商品にも堅調な動きがあり、第2四半期は98.1%と回復基調で推移しましたが、当第2四半期累計期間では95.4%と計画を下回りました。

利益面におきましては、商品鮮度改善に向けた在庫コントロールの適正化、プロパー販売の強化に努めた結果、売上総利益率は前年同期比1.2%の改善となりました。また店舗賃料の低減やローコストへの取り組みなど営業費の削減にも努め、営業経費率は前年同期比で2.1%減となり営業利益、経常利益、四半期純利益ともに黒字となりました。

店舗の出退店におきましては、既存店舗の収益改善を優先し、新規出店は4店舗にとどめ、不採算店舗を中心に47店舗を閉店するなど、店舗基盤の整備を更に進めた結果、当第2四半期末店舗数は657店舗となりました。

Q2 今後の方針ならびに下半期の施策についてお聞かせ下さい。

今期の方針である営業利益の黒字化には、アパレル事業の収益回復が最も重要であると考えており、現在取り組んでおります「MD変革」を更に加速させるために、下半期から「GAL FIT事業部」と「suzutan事業部」を統合し、レギュラー事業部として一本化しました。これにより、両事業部が持つ個性や強みを共有するとともに、ブランド毎にターゲットとする客層と提案するテイストを明確にし、個々のお店の特性、強みを最大限発揮できるよう機動的な品揃えを実現する考えです。また改称しましたラージサイズ事業部におきましては、競争優位性を回復させるために、強みである顧客化を更に進行させるとともに、店舗と商品調達の連携体制強化に、この下半期より着手しております。

雑貨事業においては、ライフスタイル提案型ブランドの育成と商品のオリジナル性追求に取り組んでおりますが、下半期につきましては「木糸土」「Hare no hi」「illusie300」を中心にMDの再構築を進めるとともに、マーケットの変化にスピードを持って対応することを課題に取り組みを強化してまいります。

以上のような諸施策により、下半期におきましては、トップラインの向上策に最優先で取り組むことで、基幹事業の収益回復を果たすとともに、経費削減への取り組みも継続強化することにより、通期における営業利益の黒字化と安定収益基盤の構築を実現してまいります。

アパレル事業の概況

General Condition of Apparel Business

アパレル事業におきましては、MD変革を加速させるために、レギュラー事業部、ラージサイズ事業部の2事業部体制に変更。新体制下で、ブランド毎のターゲット客層ならびに提案するテイストを明確にするとともに、個々のお店毎のマーケット環境に合わせた品揃えの最適化に取り組んでおります。出退店につきましては、現状は店舗基盤整備を優先し、出店は抑えながらMD変革と並行して既存ブランドの整備、再構築を進めております。

アパレル事業ブランド別の状況

(単位:店舗)				
	出 店	退 店	ブランド転換	当第2四半期末店舗数
レギュラー事業部	1	30	10	372
リ シ エ リ エ	0	1	1	31
ド ス チ	0	6	△1	24
ギャルフィット他	0	13	7	182
ス ズ タ ン 他	1	10	3	135
ラージサイズ事業部	0	3	△1	59
アパレル事業合計	1	33	9	431

ギャルフィット



GAL FIT

「フェミニン&クール」をテーマに、リラックス感のあるカジュアルスタイルとエッジの効いたモードスタイルを提案します。

リシエリエ



Recherche

「フェミニン」をキーワードに、ベーシックでリラックス感のある大人のカジュアルスタイルを提案します。

スズタン



SUZUTAN

「エレガンシー&フェミニン」をテーマに、幅広い客層へ最新トレンドと着まわしのきくベーシックアイテムを提案します。

リジェイ・スプル



Re-J 「デイリー&リラックス」をテーマに、ベーシックアイテムとシーズントレンドを程よくMIXした“大人カジュアル”を提案するラージサイズSHOPです。

SUPURE

「フェミニン&カジュアル」をテーマに、上品さと着心地を大切にしたラージサイズSHOPです。

雑貨事業の概況

General Condition of Miscellaneous Goods Business

雑貨事業におきましては、ライフスタイル提案型ブランドの育成とオリジナル性追求に取り組んでおります。新規の出店については「Hare no hi」2店舗、「illusie300」1店舗にとどまりましたが、両ブランドともにトータル提案型MDを進化させ、ライフスタイル提案型ショップとしてのポジショニングの確立に努めてまいります。また雑貨事業全体におきましては、オリジナル商品の拡大に加え、適正在庫化による商品鮮度向上にも取り組んでおります。

雑貨事業ブランド別の状況

(単位:店舗)				
	出 店	退 店	ブランド転換	当第2四半期末店舗数
シーベレット事業部	0	5	1	93
イルーシー300	1	4	△1	42
インセンス	0	0	0	32
木糸土・ハレノヒ	2	2	2	34
雑 貨 事 業 合 計	3	11	2	201
複 合 店	0	3	△11	25
全 社 合 計	4	47	0	657

注：複合店とは、アパレル事業、雑貨事業のブランドを複数合わせた店舗です。

シーベレット



Siebelet

「毎日、楽しく」をテーマに、話題性あるファンシー雑貨と生活雑貨を提案します。

イルーシー300



illusie300

「日常に彩り」をテーマに、300円のプチプライスでライフスタイルを提案します。

インセンス



INCENSE

「MY BAGを探す楽しさや、見つけた時の喜びを共有できるBAG SHOP」自分のスタイルを確立した大人の男女に、「オンリーワン」のバッグを提案します。

木糸土・ハレノヒ



木 糸 土

木・糸・土の素材を活かし、「無理なく、無駄なく」をコンセプトに、シンプルで飽きのこない生活雑貨を提案します。

Hare no hi

「ナチュラルライフ」をテーマに、アパレル、雑貨をトータルにコーディネート。ライフスタイルを提案します。

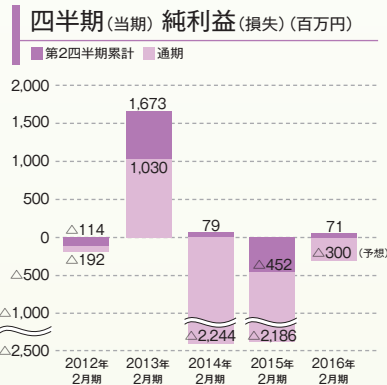
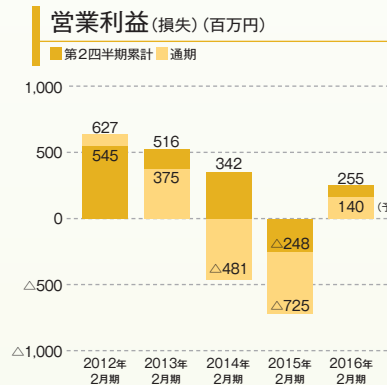
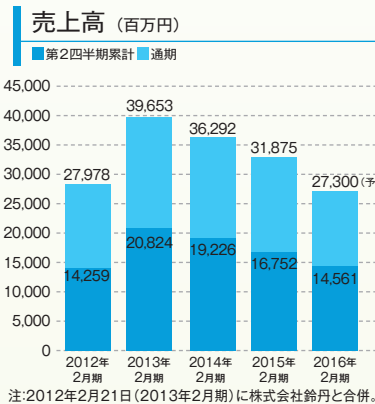
四半期財務諸表

Financial Statements

※平成27年9月29日開示の「過年度の有価証券報告書の訂正報告書及び訂正決算短信等の提出に関するお知らせ」にありますように、第28期第1四半期以降の有価証券報告書・決算短信等の訂正を行いました。つきましては、本資料に記載されております過年度の数値は、訂正後の数値で記載しております。

四半期貸借対照表	(単位:百万円)		
	当第2四半期 会計期間末 (平成27年8月20日現在)	前第2四半期 会計期間末 (平成26年8月20日現在)	前事業年度 (平成27年2月20日現在)
■資産の部			
流動資産	5,347	6,255	5,243
固定資産	6,727	8,906	7,462
有形固定資産	886	1,547	1,046
無形固定資産	3	217	0
投資その他の資産	5,837	7,141	6,414
資産合計	12,074	15,162	12,705
■負債の部			
流動負債	6,200	8,590	6,698
固定負債	3,736	2,542	3,747
負債合計	9,937	11,133	10,446
■純資産の部			
株主資本	2,137	4,028	2,258
資本金	1,229	1,229	1,229
資本剰余金	1,104	1,433	1,433
利益剰余金	△194	1,367	△402
自己株式	△2	△1	△2
純資産合計	2,137	4,028	2,258
負債及び純資産合計	12,074	15,162	12,705

四半期キャッシュ・フロー計算書	(単位:百万円)	
	当第2四半期累計期間 〔平成27年2月21日から 平成27年8月20日まで〕	前第2四半期累計期間 〔平成26年2月21日から 平成26年8月20日まで〕
② 営業活動によるキャッシュ・フロー	270	9
③ 投資活動によるキャッシュ・フロー	384	94
④ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△500	339
現金及び現金同等物の増減額	155	443
現金及び現金同等物の期首残高	256	309
現金及び現金同等物の四半期末残高	411	753



企業データ

Corporate Data

会社概要(2015年8月20日現在)

社名	株式会社 パレモ
設立	1984年11月22日
資本金	12億2,925万円
本社所在地	〒492-8680 愛知県稲沢市天池五反田町1番地
事業所	パレモ東京 〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町12番20号 日本橋T&Dビル4階 パレモ大阪事務所 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島5丁目7番19号 第7新大阪ビル 1階
従業員数	3,168名 (ナショナル社員186名、エリア社員他2,982名)
事業内容	レディースアパレル、バラエティ雑貨、 バッグの専門店チェーン
ホームページ	http://www.palemo.co.jp/

役員(2015年8月20日現在)

代表取締役社長	吉田 馨
取締役会長	藤田 敏
常務取締役	永井 隆司
取締役	江里口 直
取締役	越田 次郎
取締役	永田 昭夫
常勤監査役	黛 龍二
監査役	伊藤 章
監査役	中村 弘

注:取締役のうち、永田昭夫氏は社外取締役にあります。
監査役のうち、伊藤 章、中村 弘の両氏は社外監査役にあります。

株式情報(2015年8月20日現在)

発行可能株式総数	27,360,000株
発行済株式の総数	12,051,384株
単元株式数	100株
株主数	7,775名

大株主(2015年8月20日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
ユニグループ・ホールディングス株式会社	7,493	62.17
パレモ従業員持株会	233	1.93
個人株主A	180	1.49
株式会社三菱東京UFJ銀行	130	1.07
株式会社SBI証券	113	0.94
個人株主B	85	0.70
楽天証券株式会社	55	0.46
岩間商事株式会社	52	0.43
サンラirie株式会社	50	0.41
マネックス証券株式会社	41	0.34

株主構成(2015年8月20日現在)

